



2019年 3月220号

ふるさと



グループホームあじさい園

平成31年3月、平成のしめくりの年度末を迎えました。気の引き締まる思いがいたします。登山家野口健さんの今度こそエベレスト登頂に成功したいと、いく度目かの挑戦の時の思いを伺った時の緊張感を思い出しました。

冒頭「夢を持つと苦しい。では夢を持つのをやめますか。」と。挑戦するのもしないのも怖い。けれども挑戦するのをやめた後には何も残らない。挑戦するのは怖いけれど挑戦しないというのは失敗かも知れない。

今度こそ、と臨んだエベレスト登頂は順調に進み8500mまで来た。その時まで足元を照らしていた月に暗い雲がスーッとかかり、すべてが静かにまっ暗やみに大きく包み込まれた。残り300m行くか行かないか。

何かに挑戦する時は無理をしないといけないのでは、と自分に問いかけた。天候、体調、心の状態…、してはいけない無理もある。何より命が大事。友人と二人で登頂をめざしたが、野口さんは下山を選び、ひとり下山した。山を降りながら自由意志で下山を判断した自分と向き合った。自分で決めて好みに生きているはずなのに苦しいのはなぜか。自由に判断すると結果がついてきて責任をとらなければいけない。孤独である。そして、途中でまた断念したのかという世間からのブーイングにも心が痛む。しかし下山の途中、自分自身をほめた。「あんた一流だよ。」最後の一步手前でたまたま下山したが、胸はって帰ろう。成功ではないが失敗ではない。登れば成功かできなければ失敗か。何をもちて成功か、失敗か、相手は自然である。自然相手に「絶対」というのは人間のおごりではないか、と思い、人生のすべてをかけて何が何でもという気もちを捨てた。そして人生はいつか終わりが来る。終わりが来たころ、いろんなことに挑戦してきたなあ、49%失敗、51%成功だとうれしいなあ、野口さんは人生をトータルで考えたいとおっしゃった。

トントんと効率よく登りたいと思うかも知れないが実はコツコツと地味に、さらにコツコツと大事に前に進めるのがよい。コツ、コツ、コツを忘れて遭難したら大変だから。さらに野口さんは他人からの厳しい批判や指摘を日記に書きとめ、時々見ては「はっ、おっしゃる通りです」と頭を下げ、いろんな角度から見られる他人の言葉にヒントをいただいている。そして自分はどれだけ心をやわらかくできるかに挑戦されています。

3月の行事予定

- 3日(日) ひな祭り
- 12日(火) 運営推進会議
- 17日(日) 昼食会
- 27日(水) お誕生日会



※塩田医師の定期往診もあります。

いつもご協力ありがとうございます。

あじさい園のホームページもご覧ください。

節分豆まき 2月3日

登場した赤鬼に「鬼は外、福は内！」と皆様の元気なお声で紙ボールの豆で鬼退治👹👹👹！グループホームの玄関と裏庭へ豆を撒き邪気を追い払い一年の無病息災を願いました。豆の代わりに甘納豆はおやつに頂きました



お誕生日会 2月9日

米寿をむかえられました高安ハツ子様(88歳)のお誕生日を皆さんでお祝いしました。



おもちつき 2月10日

年末に食べたお餅をととても喜んでおられ、そのリクエストに応じて餅つきをしました。餅つき機の中を覗かれたり、つきたての餅をちぎってきな粉や餡子に包み頂きました。



昼食会 2月24日

飲茶風を味わって頂こうと551の蓬莱で「豚まん・海老焼売・ふかひれスープ」を取り寄せました。豚まんを両手で持ち、大きな口で嬉しそうに召し上がられていました。しっかりとした生地で食べ応えがあったようです。

